



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

東証プライム・名証プレミア 証券コード:7943

2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

2024年11月14日



連結業績サマリー



(百万円、%)

	2024/3期	2025/3期 上期		前年同期比		期初予想比		2025/3期 修正予想 (注2)	前期比	
	上期実績	期初予想 (注1)	実績	金額	%	金額	%		金額	%
1 売上高	68,408	72,000	73,019	+4,611	+6.7	+1,019	+1.4	148,500	+5,709	+4.0
2 3 営業利益 (営業利益率)	3,804 (5.6%)	4,500 (6.3%)	3,435 (4.7%)	△368	△9.7	△1,064	△23.6	7,000 (4.7%)	△3,205	△31.4
4 経常利益	5,258	4,800	3,235	△2,022	△38.5	△1,564	△32.6	7,300	△4,556	△38.4
5 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	3,335	3,400	1,829	△1,506	△45.2	△1,570	△46.2	4,500	△3,566	△44.2

(注1)2025/3期 期初予想：2024年5月9日発表

(注2)2025/3期 修正予想：2024年11月7日発表

(注3)本資料では百万円未満の金額を切り捨てにより表示しております

1. 2025年3月期 第2四半期決算(中間期)



- 1) 2025年3月期 市場動向(国内)
- 2) 市場動向(米国)
- 3) 連結損益計算書
- 4) 国別業績
- 5) 米国事業営業利益の上期期初予想・実績対比 増減要因
- 6) 国内事業営業利益の前期比 増減要因
- 7) 設備投資・減価償却費



1) 市場動向(国内)



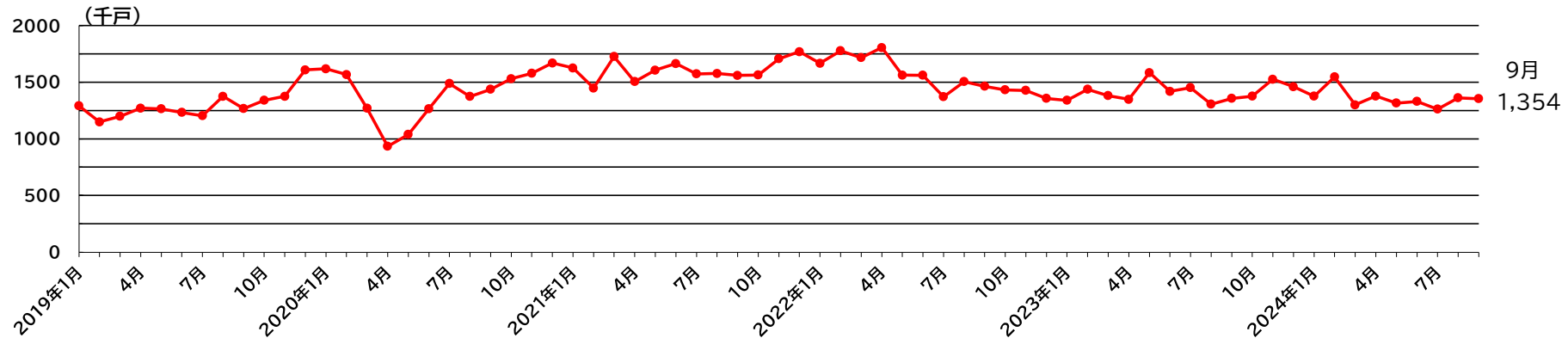
()内は前年同期比増減率 %

国内市場 四半期別推移		年度	上期			下期			通期	
			1Q	2Q	計	3Q	4Q	計	計	
住宅市場										
新設住宅着工戸数	千戸	2023	208 (Δ4.7)	207 (Δ7.7)	415 (Δ6.2)	202 (Δ6.3)	182 (Δ9.6)	384 (Δ7.9)	800 (Δ7.0)	
		2024	209 (0.5)	203 (Δ2.0)	412 (Δ0.7)					
	戸一戸建	千戸	2023	94 (Δ9.0)	96 (Δ8.7)	190 (Δ8.9)	89 (Δ12.0)	78 (Δ9.7)	167 (Δ11.0)	358 (Δ9.9)
			2024	86 (Δ8.6)	89 (Δ6.6)	176 (Δ7.5)				
窯業系外装材業界										
業界全体のサイディング販売数量 [日本窯業外装材協会] (JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準)	千坪	2023	6,785 (Δ6.3)	6,754 (Δ7.8)	13,539 (Δ7.1)	7,156 (Δ5.1)	6,083 (Δ12.8)	13,239 (Δ8.8)	26,779 (Δ7.9)	
		2024	6,207 (Δ8.5)	6,139 (Δ9.1)	12,346 (Δ8.8)					
当社										
窯業系サイディング販売数量 (JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準)	千坪	2023	3,728 (Δ4.2)	3,829 (Δ3.7)	7,557 (Δ3.9)	4,174 (+3.9)	3,582 (Δ4.7)	7,757 (Δ0.2)	15,314 (Δ2.1)	
		2024	3,700 (Δ0.8)	3,668 (Δ4.2)	7,368 (Δ2.5)					
業界シェア	%	2023	54.9 (+1.2p)	56.7 (+2.4p)	55.8 (+1.8p)	58.3 (+5.0p)	58.9 (+5.0p)	58.6 (+5.0p)	57.2 (+3.4p)	
		2024	59.6 (+4.7p)	注1) 59.7 (+3.0p)	注2) 59.7 (+3.9p)					

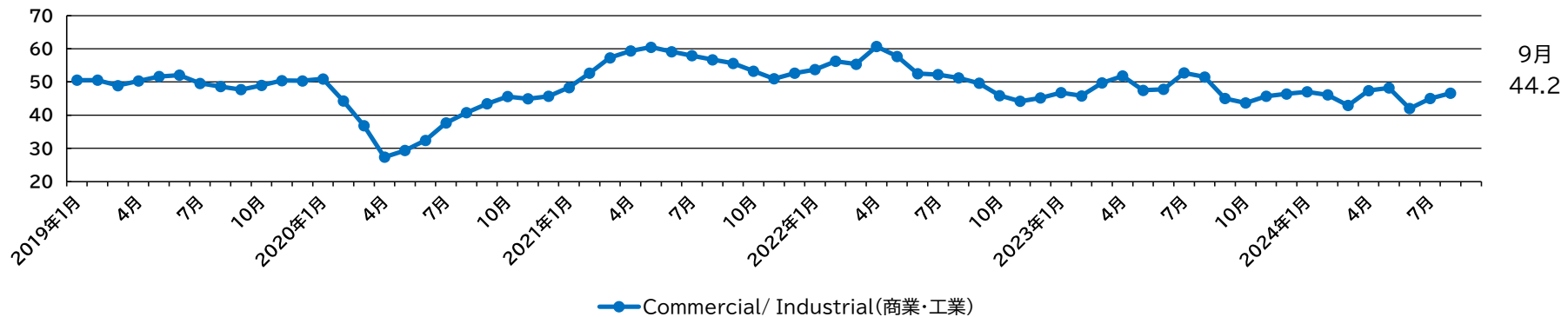
注1),2)
過去最高

2) 市場動向(米国)

(1)住宅着工件数(季節調整済み・年率換算)



(2)Architecture Billings Index (ABI)



注)ABIは米国建築士協会(AIA)が商業用ビル等の設計景況感を調査したデータです。

商業・工業用建物等の建設を約9~12ヶ月先行する指標で、50を超えれば増加傾向、50を下回れば減少傾向となります。

ここでは商業・工業のデータを掲載しています。

3) 連結損益計算書



(百万円、%)

	2024/3期 上期		2025/3期 上期		前年同期比	
	金額	売上比／構成比	金額	売上比／構成比	金額	%
1 売上高	68,408	100.0	73,019	100.0	+4,611	+6.7
2 外装材事業	63,653	93.0	68,383	93.7	+4,729	+7.4
3 国内	50,656	74.0	51,128	70.0	+472	+0.9
4 窯業系外装材	45,383	66.3	45,560	62.4	+176	+0.4
5 金属系外装材	5,272	7.7	5,567	7.6	+295	+5.6
6 海外	12,997	19.0	17,254	23.7	+4,257	+32.8
7 米国	11,927	17.4	16,122	22.1	+4,195	+35.2
8 (百万US\$)	(88.3)	-	(105.8)	-	(+17.4)	(+19.8)
9 中国他	1,070	1.6	1,132	1.6	+62	+5.8
10 その他	4,754	7.0	4,636	6.3	△118	△2.5
11 売上総利益	23,856	34.9	25,069	34.3	+1,212	+5.1
12 営業利益	3,804	5.6	3,435	4.7	△368	△9.7
13 (為替差損益)	(1,203)	-	(△416)	-	(△1,619)	-
14 経常利益	5,258	7.7	3,235	4.4	△2,022	△38.5
15 親会社株主に帰属する 中間純利益	3,335	4.9	1,829	2.5	△1,506	△45.2

◆海外子会社 円換算レート	期中平均(AR)	期中平均(AR)	差異
1US\$	135.0	152.36	+17.36
1元	19.46	21.07	+1.61

◆期末評価レート	23/3	23/9	24/3	24/9
1US\$	133.54	149.58	151.33	142.82

(注)その他の内訳は、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業です

4) 国別業績



(百万円、%)

	社数	売上高		営業利益			
		2024/3期 上期	2025/3期 上期	2024/3期 上期	2025/3期 上期	増減額	%
1 国内	11	58,969	58,979	2,764	2,111	△653	△23.6
2 米 国 3 (百万US\$)	1	11,927 (88.3)	16,122 (105.8)	1,185 (8.7)	1,158 (7.6)	△27 (△1.1)	△2.3 (△13.4)
4 中 国 5 (百万元)	2	2,100 (107.9)	2,016 (95.7)	104 (5.3)	26 (1.2)	△78 (△4.1)	△74.8 (△76.7)
6 調 整 額		△4,589	△4,099	△250	140	+390	-
7 連 結	14	68,408	73,019	3,804	3,435	△368	△9.7

5) 米国事業営業利益の上期期初予想・実績対比 増減要因



米国 期初予想・実績対比(現地通貨ベース)

(百万US\$、%)

	売上高		営業利益			
	2025/3月 上期 期初予想	2025/3期 上期 実績	2025/3月 上期 期初予想	2025/3期 上期 実績	増減額	%
1 米 国	104.0	105.8	17.2	7.6	△9.6	△55.8

	損益影響額
2 稼働低迷(住宅・コマーシャル)	△5.9
3 在庫廃棄(コマーシャル)	△2.9
4 固定費増減(住宅)	△0.8
5 米国事業 計	△9.6

6) 国内事業営業利益の前年同期比 増減要因

国内事業営業利益		(億円)
2024/3期 上期	2025/3期 上期	増減
27.6	21.1	△6.5

		(億円)
		損益影響額
1	売上要因 (販売数量減・価格改定・国内子会社等)	+6.0
2	在庫増減(製造固定費)	△5.2
3	資材・エネルギーコストアップ・ダウン	△0.9
4	物流費コストアップ	△6.8
5	固定費増減	+0.4
6	国内事業 計	△6.5

7) 連結 設備投資・減価償却費



(億円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	
						上期実績	通期計画
1 設備投資	107.6	118.8	98.6	93.0	47.4	19.9	44.7
2 減価償却費	46.5	47.7	48.1	33.5	53.0	26.6	54.3

(注) 設備投資…資産計上基準

減価償却費…長期前払費用を除く

✓償却方法の変更
定率法→定額法
従来比△13.3億円

✓2023/3期に大型投資
(米国新工場・名古屋工場)
二巡

2. 2025年3月期 業績予想&配当状況

- 1) 2025年3月期 通期業績予想
- 2) 2025年3月期 通期国別業績予想(期初予想vs修正予想)
- 3) 2025年3月期 通期国別業績予想(前期実績vs修正予想)
- 4) 米国事業 業績下方修正
- 5) 配当状況



1) 2025年3月期 通期業績予想



(百万円、%)

		期初予想	修正予想	期初予想比		前期比	
				金額	%	金額	%
1	売上高	148,500	148,500	-	-	+5,709	+4.0
2	外装材事業	138,800	138,800	-	-	+5,646	+4.2
3	国内	103,300	104,500	+1,200	+1.2	+1,731	+1.7
4	窯業系外装材	92,900	93,600	+700	+0.8	+941	+1.0
5	金属系外装材	10,400	10,900	+500	+4.8	+789	+7.8
6	海外	35,500	34,300	△1,200	△3.4	+3,914	+12.9
7	米国	32,100	31,300	△800	△2.5	+3,260	+11.6
8	(百万US\$)	(221.0)	(206.6)	(△14.3)	(△6.5)	(+7.3)	(+3.7)
9	中国他	3,400	3,000	△400	△11.8	+654	+27.9
10	その他	9,700	9,700	-	-	+62	+0.7
11	営業利益	11,500	7,000	△4,500	△39.1	△3,205	△31.4
12	(営業利益率)	(7.7%)	(4.7%)	-	-	-	-
13	経常利益	12,000	7,300	△4,700	△39.2	△4,556	△38.4
14	親会社株主に帰属する純利益	8,500	4,500	△4,000	△47.1	△3,566	△44.2

(注1)その他の内訳は、繊維板事業、工事業、FP事業、その他事業です

◆海外子会社 円換算レート

	期初・期中平均(AR)	修正・期中平均(AR)
1US\$	145.00 (前期:140.67)	151.46 (前期:140.67)
1円	20.00 (前期:19.83)	21.00 (前期:19.83)

2) 2025年3月期 通期国別業績予想(期初予想vs修正予想)



(百万円、%)

	社数	売上高		営業利益			
		2025/3月期 期初予想	2025/3月期 修正予想	2025/3月期 期初予想	2025/3月期 修正予想	増減額	%
1 国内	11	119,843	120,400	4,800	4,480	△320	△6.7
2 米国 3 (百万US\$)	1	32,100 (221.0)	31,300 (206.6)	5,800 (40.0)	1,850 (12.2)	△3,950 (△27.8)	△68.1 (△69.5)
4 中国 5 (百万元)	2	4,200 (210.0)	3,900 (185.7)	400 (20.0)	150 (7.1)	△250 (△12.9)	△62.5 (△64.3)
6 調整額		△7,643	△7,100	500	520	+20	+4.0
7 連結	14	148,500	148,500	11,500	7,000	△4,500	△39.1

◆市場前提条件

住宅市場／窯業系外装業界	(期初・市場前提) 数量・前期比	(修正・市場前提) 数量・前期比
新設住宅着工戸数 千戸	790 (前期比△3.6%)	—
業界全体のサイディング 販売数量 千坪	26,000 (前期比△2.9%)	25,273 (前期比△5.6%)

(注)新設住宅着工戸数は2024年1～12月の予想

3) 2025年3月期 通期国別業績予想(前期実績vs修正予想)



(百万円、%)

	社数	売上高		営業利益			
		2024/3期 実績	2025/3期 予想	2024/3期 実績	2025/3期 予想	増減額	%
1 国内	11	118,896	120,400	6,665	4,480	△2,185	△32.8
2 米国 3 (百万US\$)	1	28,039 (199.3)	31,300 (206.6)	3,026 (21.5)	1,850 (12.2)	△1,176 (△9.3)	△38.9 (△43.3)
4 中国 5 (百万元)	2	4,313 (217.5)	3,900 (185.7)	229 (11.5)	150 (7.1)	△79 (△4.4)	△34.6 (△38.2)
6 調整額		△8,458	△7,100	284	520	+235	+83.0
7 連結	14	142,790	148,500	10,205	7,000	△3,205	△31.4

4) 米国事業 業績下方修正

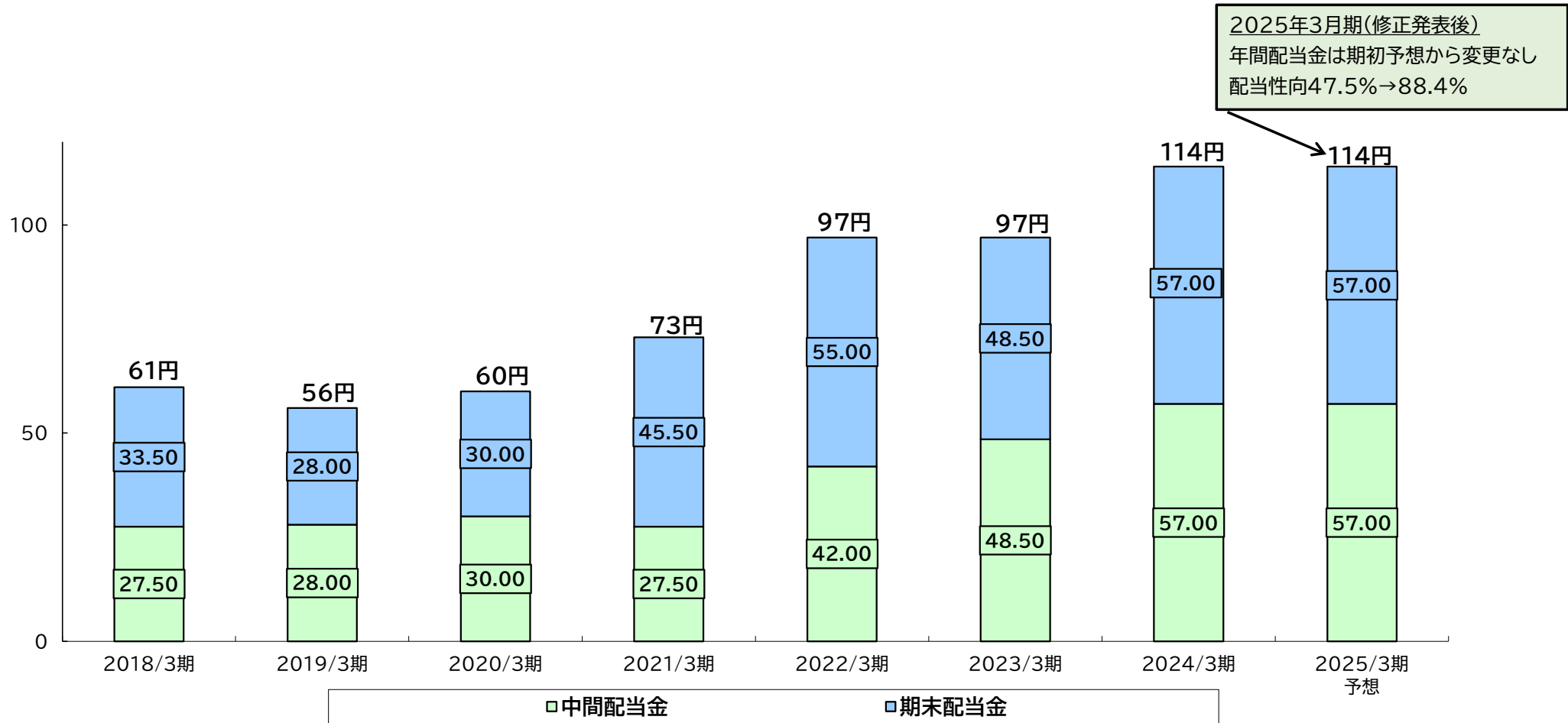


業績下方修正の要因と対策

	要因	影響	悪影響 度合 ×× > × > △		今後の対策等	来期への 影響
			上期	下期		
住 宅	南部ハリケーン	・需要減を受けてのディーラーの在庫調整	—	××	・徐々に回復。来期には復興需要も期待。	—
	工場稼働低迷 (生産数量減・合格率悪化)	・欠品による販売減 ・在庫減による収益悪化 ・製造変動費増加 ・消耗品費、修繕費等の増加	×	××	・稼働低迷を受け、改善に向けた課題を抽出中 ・値上げも検討	△~×
コマーシャル	工場稼働低迷 (生産数量・合格率の計画未達)	・本来予定していたニチハ輸入品から製造品へのシフト遅れ ・製造固定費の増加	××	△	・予防保全体制を確立 ・生産スタッフの定着により、着実に改善方向 ・一方、消耗品費、修繕費等が高んできており、コストダウンに取組み中	—
	物流面のトラブル	・誤出荷、納期遅滞による販売への悪影響 ・製品破損	×	××	・自社運営に切替 ・日本の倉庫オペレーション会社の指導により、ほぼ正常化へ	—
	型板不良に起因する製品不良	・在庫廃棄損 ・主力製品の一時的な販売停止	×	×	・新型板の投入により生産は正常化 ・販売回復に注力中	—

稼働は正常化しつつある

5) 配当状況



3. 中期経営計画



1 重要戦略テーマ

2 財務目標

3 重要戦略テーマ(個別論点)

- ① 国内外の市場開拓推進(国内非住宅、米国、中国)
 - ② 収益性の向上
 - ③ マテリアリティへの取組強化
 - ④ 資本政策
-
-

1 重要戦略テーマ

長期ビジョン

Challenge Global to 2030

『Globalに通用する 企業を目指す』

- 日本の住宅関連市場の縮小が避けられない中、事業の中心を国内住宅市場に加えて、国内非住宅市場及び海外市場に拡大
- 「開発から調達、生産、営業、物流までのバリューチェーン、資本効率、リスク管理など、あらゆる面でGlobalに通用する」企業を目指す

第一次中期経営計画における重要戦略テーマ

- 1 国内外の市場開拓推進**
 - ・ 前中計における生産能力増強投資の効果刈り取りによる成長の加速
 - ・ 国内 更なるシェアアップ、非住宅分野への拡販
 - ・ 海外 米国を中心として、継続した成長を実現
- 2 収益性の向上**
 - ・ 製品ラインアップの高付加価値品シフトによる収益力UP
 - ・ 施工用部材の開発販売強化
 - ・ 適地生産の拡大による物流コスト削減
 - ・ 省力化投資等による生産性向上
 - ・ 人件費等のコストアップに対し、適宜製品価格の見直しを検討
- 3 マテリアリティへの取組強化**
 - ・ 燃料転換によるCO2削減の検討、産廃物の有効利用等
 - ・ 人的資本経営の推進
- 4 資本政策**
 - ・ 成長投資と株主還元への配分を優先したキャッシュフローアロケーション
 - ・ ROIC向上、財務レバレッジの適正化、資本コスト低減を通じたPBR改善

2 財務目標

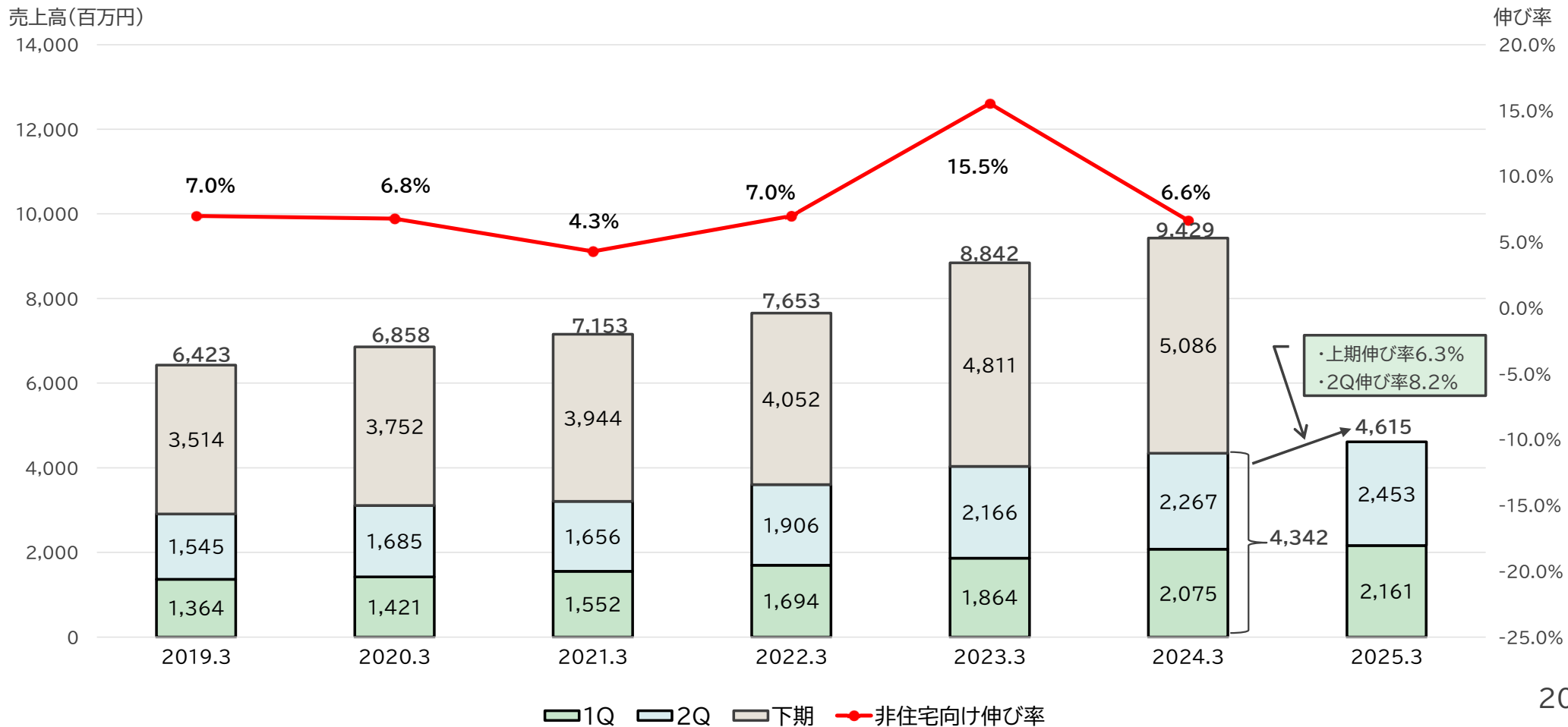


	実績	予想	➤	(億円)
	24/3月期	25/3月期		第一次中計目標 27/3月期
売上高	1,427	1,485		1,610
営業利益	102	70		165
営業利益率	7.1%	4.7%		10.2%
自己資本比率	72.0%	70.0%程度		70%以下
配当性向	51.0%	88.4%		45%以上
ROE	6.6%	3.6%		9%
ROIC	5.1%	3.6%		8%

3 ①国内外の市場開拓推進/国内非住宅



国内非住宅向け売上高 推移



3 ①国内外の市場開拓推進/米国

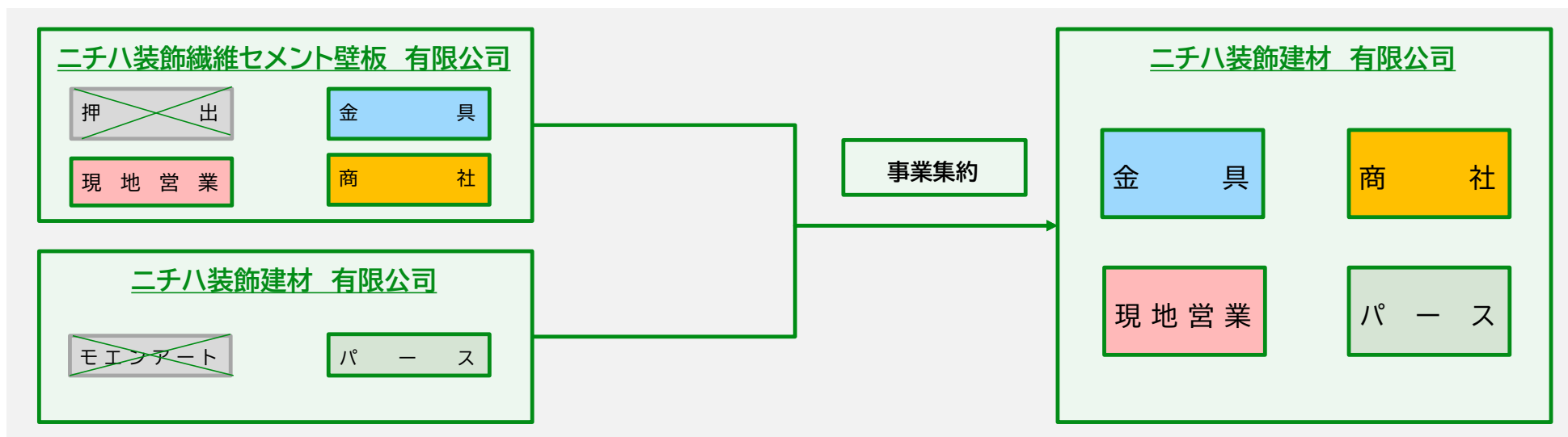


	実績		予想		第一次中計目標		2030年度目標	
	24/3月期	25/3月期	25/3月期	27/3月期	27/3月期	31/3月期	31/3月期	
売上高	1,427	1,485	1,485	1,610	1,610	1,850	1,850	
（内 米国事業）	(280)	(313)	(313)	(384)	(384)	(480)	(480)	
（内 米国事業比率）	(19.6%)	(21.1%)	(21.1%)	(23.9%)	(23.9%)	(25.9%)	(25.9%)	
営業利益	102	70	70	165	165	220	220	
（内 米国事業）	(30)	(18.5)	(18.5)	(79)	(79)	(115)	(115)	
（内 米国事業比率）	(29.4%)	(26.4%)	(26.4%)	(47.9%)	(47.9%)	(52.3%)	(52.3%)	
営業利益率	7.1%	4.7%	4.7%	10.2%	10.2%	11.9%	11.9%	

■製造や物流においてはいくつかの課題がある一方で、営業面では体制を強化

- ・営業人員増強
- ・カナダで現法設立(2024年7月)

3 ①国内外の市場開拓推進/中国



概要	不採算の押出事業、モエンアート事業から撤退、2社を1社に統合して経営を効率化		
効果	事業集約の過程で一時的な損失(上期:405百万円、下期見込:124百万円)が発生するものの、不採算事業の撤退と経営統合による本社部門のスリム化により、事業収益を改善させる。		
財務目標	<u>2024/3月期</u>	<u>2027/3月期</u>	百万円 (百万元)
	売上高 4,313 (217.5)	売上高 4,400 (220.0)	
	営業利益 229 (11.5)	営業利益 600 (30.0)	

3 ②収益性の向上



1. 価格改定

■窯業

・部材、配送費…8月より価格改定実施

■金属 10月1日に価格改定を公表

1. 実施日:2025年1月6日(月)出荷分より
2. 対象商品:金属製外壁材(センターサイディング全商品)、金属製屋根材(センタールーフ全商品)
3. 価格改定率:8%以上

2. 物流コスト削減

上期物流コストアップ
6.8億円

■物流新倉庫の建設着手

1. 2024年問題への対応(トラック待機時間削減)
2. コスト削減…3億円/年 程度

■キャッシュアロケーション戦略投資案件(第一次中計期間)

- ・投資金額42億円
- ・2026年稼働予定

■適地生産の拡大

1. トラックドライバー不足に対応した輸送距離の短縮
2. コスト削減…第一次中計期間の最終年度までに3.5億円/年 程度

3 ③マテリアリティへの取組強化



ニチハにおけるマテリアリティの定義

環境・社会のサステナビリティに影響を与える課題のうち、ニチハの強み、特徴を生かして貢献していくべき重要課題(この課題への取組が、ニチハの中長期的な競争優位性、価値創造力の持続化、強化にも繋がる)

マテリアリティ	事業活動	
地球温暖化の防止	CO2排出削減	自社CO2排出削減 サプライチェーンでのCO2排出削減
	環境貢献商品の拡充	自社製品によるCO2固定化 自社製品の長寿命化
循環型社会の形成	資源の循環利用	産業廃棄物の有効利用 自社製品のリサイクル推進
	木材資源の保護	間伐材・端材の有効利用 持続可能な森林経営への貢献
人権の尊重	従業員の人権尊重	ハラスメントの防止
	サプライチェーンにおける人権尊重	人権に配慮した調達推進
人的資本経営の推進	人材の育成・活用	人材の育成 ワークライフバランス推進
	ダイバーシティの推進	女性の活躍促進 高齢者の活躍促進
		多様性を尊重する職場づくり
	安全な職場づくり	労働安全衛生の確保

①EDP(注1)…米国の製品について取得済み
②SBT(注2)…2025年の申請に向けて取組中

(注1) EDP …製品のライフサイクルにおける環境負荷を定量的に示した、ISO準拠の環境認証ラベル

(注2) SBT …パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標

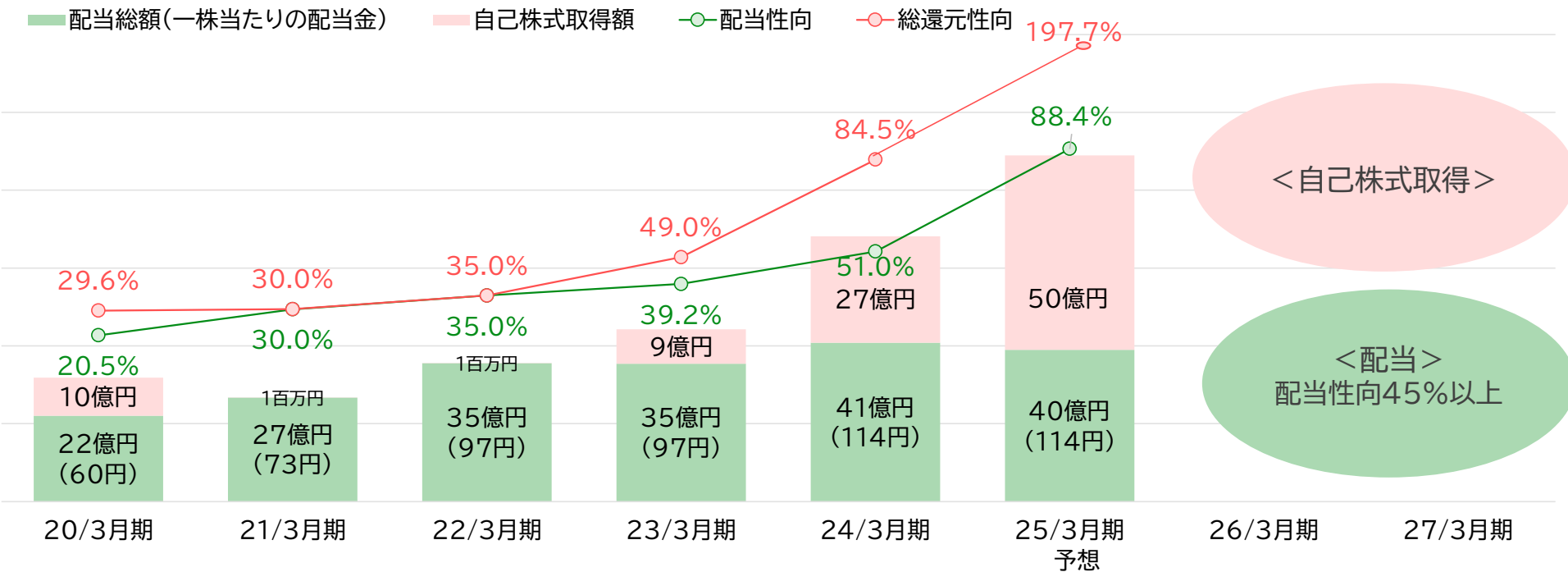
3 ④資本政策／株主還元方針

■ 配当

- 業績に応じた利益還元を基本としつつ、安定的な配当の維持に努めることを基本方針とし、当期より配当性向をこれまでの「40%」から「45%以上」に引き上げ。
- 業績下方修正後も、期初公表114円/年を据え置き。

■ 自己株式取得

- 本年5月より「株数160万株・金額50億円」を上限とする自己株式取得を開始。11/7に累計「1,428,400株、4,999,728,000円」にて買付終了。
- 今後も最適資本構成の観点から適切と判断した場合等には、機動的に自己株式取得を行う



ご参考資料



四半期別業績推移



	2024/3期				2025/3期			
	上期		下期		上期		下期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
・売上高 (百万円)								
1	連結	32,827	35,581	39,416	34,966	35,925	37,094	
2	二 千 八	27,689	28,096	30,572	26,084	27,803	28,235	
3	好 窯業系サイディング	18,349	18,445	20,261	17,300	18,257	18,465	
・営業利益 (百万円)								
4	国内	1,201	1,563	2,588	1,313	1,053	1,058	
5	海外	727	562	1,081	884	554	630	
6	調整額	△ 302	52	196	338	97	43	
7	連結・営業利益	1,626	2,178	3,867	2,534	1,704	1,731	
・窯業系サイディング販売数量等(輸出売上を除く。JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準)								
8	販売数量 (千坪)	4,027	4,143	4,501	3,845	3,954	3,950	
9	販売単価 (円/坪)	4,194	4,204	4,287	4,254	4,342	4,357	
10	業界シェア (%)	54.9%	56.7%	58.3%	58.9%	59.6%	59.7%	
・市場環境(業界販売数量は12mm厚製品を含む)								
11	一戸建着工戸数 (千戸)	94	96	89	78	86	89	
12	前年同期比 (%)	△9.0	△8.7	△12.0	△ 9.7	△8.6	△6.6	
13	窯業系サイディング業界販売数量 (千坪)	6,785	6,754	7,156	6,083	6,207	6,139	
14	前年同期比 (%)	△6.3	△7.8	△5.1	△12.8	△8.5	△9.1	

2025年3月期 下期国別業績予想

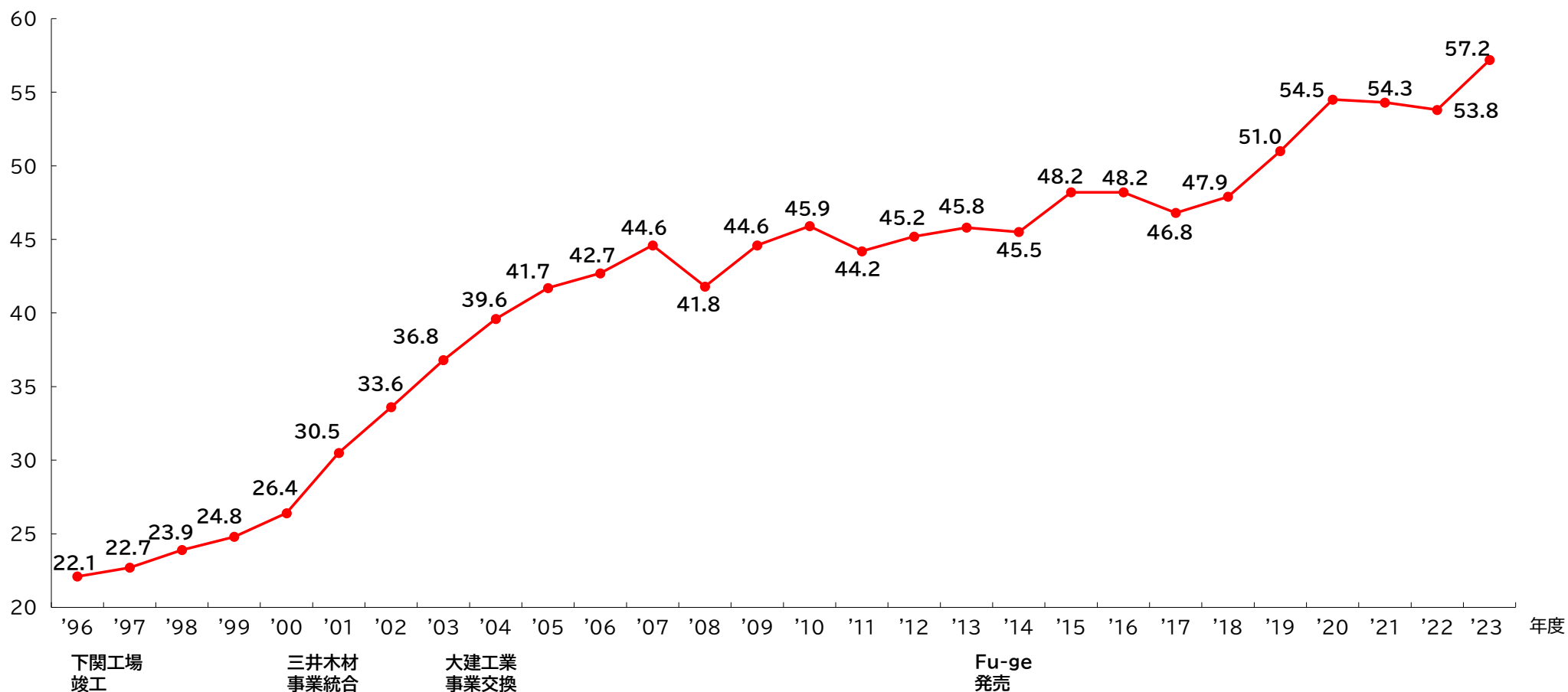


(百万円、%)

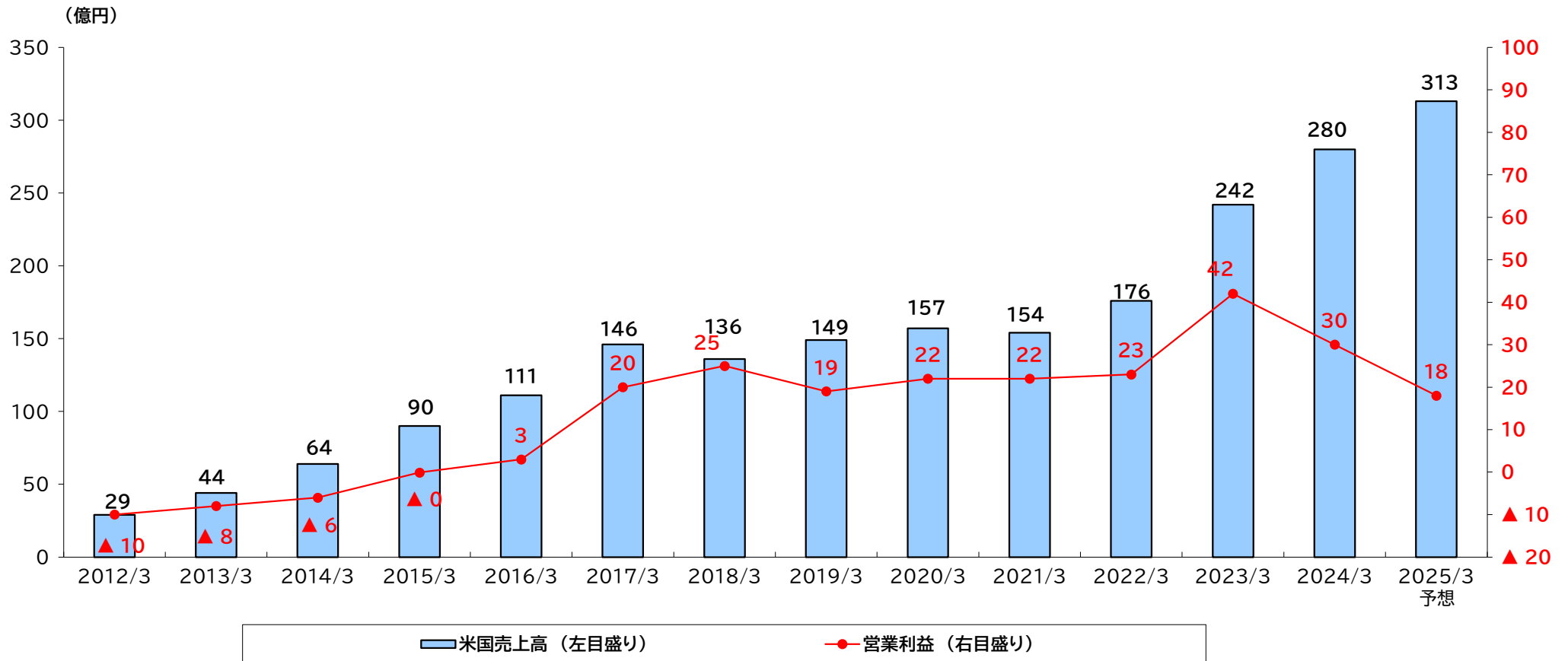
	社数	売上高		営業利益			
		2024/3期	2025/3期	2024/3期	2025/3期	増減額	%
1 国内	11	59,927	61,420	3,901	2,368	△1,532	△39.3
2 米国 3 (百万US\$)	1	16,112 (110.9)	15,177 (100.8)	1,841 (12.7)	691 (4.6)	△1,149 (△8.1)	△62.4 (△63.8)
4 中国 5 (百万元)	2	2,212 (109.5)	1,883 (89.9)	124 (6.1)	123 (5.8)	△0.9 (△0.2)	△0.8 (△4.8)
6 調整額		△3,869	△3,000	534	379	△154	-
7 連結	14	74,382	75,480	6,401	3,564	△2,837	△44.3

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります

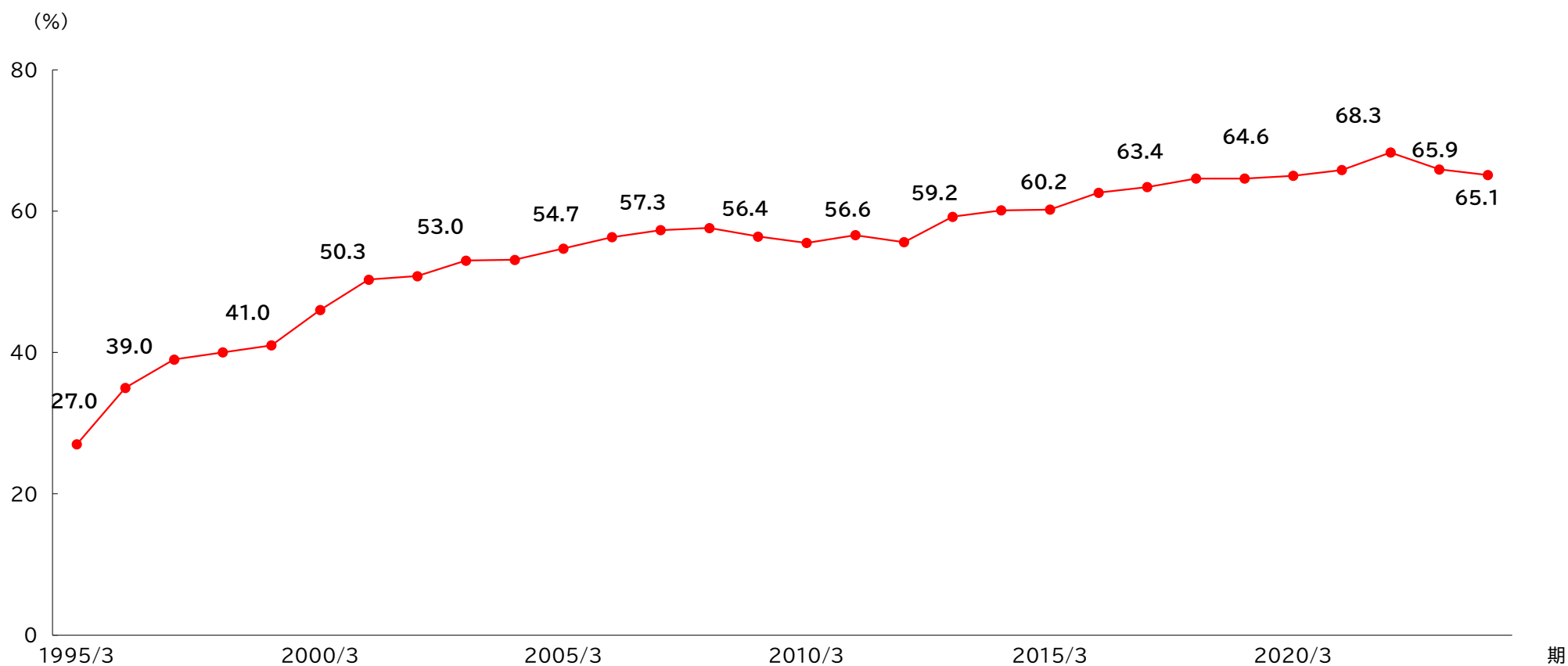
窯業系サイディング シェア推移



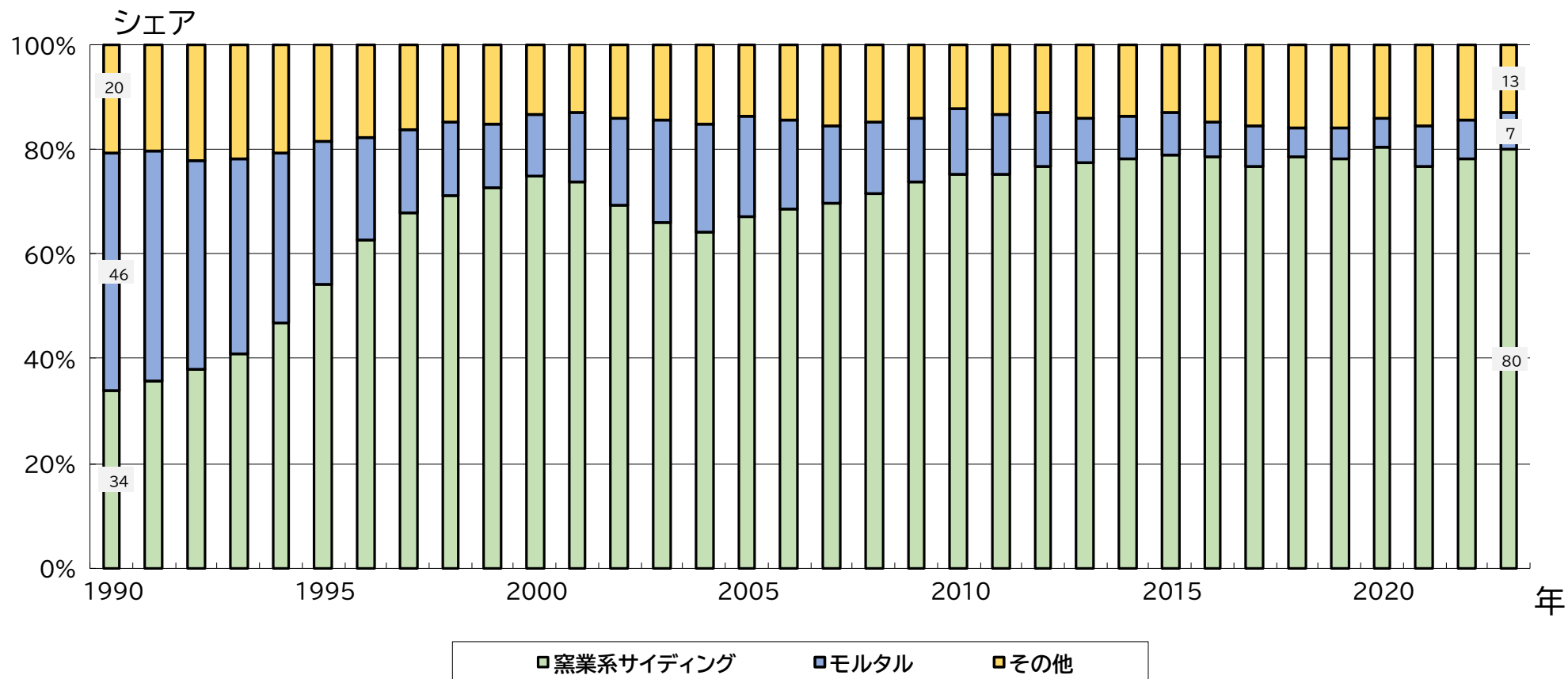
米国 業績推移



(ニチハ)窯業系サイディング 高級品(16mm以上厚)売上高構成比率推移



一戸建住宅における窯業系サイディングシェア推移(国内)



注意事項

本資料は、株主・投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、
売買を勧誘するものではありません。

また、本資料には将来の見通しや計画等に関する記述が含まれております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しているため、確約や保証を与えるものではありません。